

令和4年8月3日から4日にかけて東北地方に停滞した前線による大雨は、本市の1日降水量（総雨量275.5mm）や1時間降水量（最大58.5mm）などが過去の記録を上回り、住家や事業所、道路、農地農作物等に甚大な被害をもたらしました。特に低地に位置する塩川町においては、排水能力を大きく超えた大雨により内水氾濫が発生し、住家や事業所等において深刻な被害が発生したところです。

これから出水期を迎えるにあたり、市では関係機関と連携して各種内水氾濫対策を講じ、塩川町の皆様の安心・安全な日常を確保してまいります。

■身神川緊急排水ポンプ投入場訓練の実施

令和8年5月13日、内水氾濫対策訓練を実施しました。

内水排除対策の一環として整備された「緊急排水ポンプ投入場」において、排水ポンプの設置訓練を実施しました。

地元消防団および国土交通省の関係者が参加し、緊急時における排水作業の手順を確認するとともに、内水氾濫対策に対する理解を深めました。

今後も関係機関との連携を図りながら、地域の防災力向上に努めてまいります。



■関係者(国・県・消防署等)による塩川地域水害対策連携会議の開催

令和8年5月29日、水害対策推進のため、「塩川地域水害対策連携会議」を開催し、防災行動計画の確認をはじめ、内水氾濫対策や災害発生時の緊急連絡体制について情報共有を行い、関係機関相互の連携強化を図りました。

■避難情報等の発令について

河川の水位が、避難判断水位「レベル3」に達する見込みとなった場合や今後の気象状況等を鑑み災害が発生する恐れがあると判断した場合に、避難行動の情報を発信します。

なお阿賀野川水系日橋川の場合、南大橋水位観測所の水位が3.2mに到達した場合は、一段階前倒しの行動計画として「高齢者等避難」を発令します。また、避難行動の情報は防災ラジオ、屋外拡声器、エリアメール、市ホームページ、広報車等で周知するとともに、河川の水位は「国土交通省 川の防災情報」で確認できます。

川の防災情報

検索

■市等が実施する主な内水氾濫対策

●別府地区(姥堂川)の排水ポンプ増設

別府地区に備え付けてある排水ポンプについて、既存の5台に加え2台を増設します。(期間：6月～10月末)

●塩川町内の増水に対応できるよう排水ポンプの手配等

塩川総合支所に排水ポンプ1台及び救命ボートを備え付けました。

また、塩川町内において内水氾濫の恐れが高まった場合、排水ポンプ2台の手配を行います。

(期間：6月～10月末)

塩川総合支所に備え付けた排水ポンプ



●喜多方市消防団ボート隊の発足

ボートを利用した各種対応要員として『喜多方市消防団ボート隊』が令和7年度に発足し、水害などの有事の際に出動します。

●ワンコイン浸水センサの設置

ワンコイン浸水センサは、センサ部分が水に触れることで浸水を検知します。検知された情報はリアルタイムで集約され、国土交通省のホームページ上で確認することができます。過去に浸水被害が多発した塩川地区を中心に、関係行政区長や消防団員の皆さまの意見を踏まえながら、令和7年度に16か所にセンサを設置しました。

浸水センサ表示システム

検索

■自主防災組織を結成しましょう

「自主防災組織」とは、災害発生時はもちろんのこと、地域の皆さんが一緒になって防災活動に取り組むための各行政区単位で結成する組織です。自分たちのまちは自分たちで守るために、自主防災組織の結成をお願いします。

※補助制度を設けています。詳しくはお問合せください。

(危機管理課 TEL24-5221 または塩川総合支所住民課 TEL27-2111)